

社会福祉協議会

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する民間の団体です



No.127

# みなみあしがら



10月24日、6組13人の親子が参加した親子お菓子福祉教室 女性センター

第127号  
主な記事

新年のあいさつ・弘西寺地域福祉会…② 被災地のいま陸前高田市…③

市・県社会福祉大会…④ ⑤ 地域福祉会連絡会 事例発表…⑥

社協広報誌

お菓子福祉教室に参加して…⑦ 事業案内・寄付の窓口…⑧

発行

社会福祉法人南足柄市社会福祉協議会・共同募金会南足柄市支会

〒250-0105 南足柄市関本403-2 南足柄市りんどう会館1階

TEL 0465-73-1575 FAX 0465-74-3276

ホームページ <http://www.minamisyakyo.or.jp> E-mail [soumu@minamisyakyo.or.jp](mailto:soumu@minamisyakyo.or.jp)

明けましておめでとうございませう。新年を迎え、皆様の幸せを心より願っております。



南足柄市社会福祉協議会  
会長 森住敏逸



明けましておめでとうございませう。皆様には、お健やかで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は9月の東日本豪雨災害をはじめ列島各地で自然災害による

### オール弘西寺で 芋ほりの世代間交流

弘西寺地域福祉会会長 古田幸夫

小春日の10月31日、子ども達と保護者、自治会三役、福祉会会員など総勢50余名の参加者が畑に集まりました。あいさつ運動のおかけか学校、家庭でのイジメや、悲惨な事件報道を見るにつけ、子ども達の伸び伸びとした大きな声でのあいさつは晴天に声高く響き渡り気持ちがいいものでした。

芋ほりを経験したことのない子どももいて、サツマイモがどう出来るか前会長が丁寧に説明されま

被害が相次いだ年でもありません。また超高齢社会の到来と人口減少、また認知症や子どもの貧困率増大などにより、多様な生活支援のニーズが高まってきました。

私達社協は、誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりを目指して活動してきました。そして、昨年4月に南足柄市より「岡本地区地域包括支援センター」を受託、相談業務の機能を拡大し、また、7月には「災害時における

した。手袋、長靴でいよいよ芋ほり開始です。

我が福祉会婦人部、子ども達との仲立ちで芋が本場に芋づる式に5個も6個も取れ、「大きい芋取ったぞー」の凄い歓声！

芋洗いの後は、恒例のたき火での「焼き芋」。濡れ新聞紙とアルミ箔に包んでやるなんて婦人部もたいしたものですね。男性陣は、たき火と、ふかし芋担当で、全ての胃袋に収まりました。子ども達の感想は、「お芋がこんなに大きくなってビックリ、嬉しかった」「土の中にカエルや、蟬の幼虫、ミミズ、カニが出てきておもしろかつ

相互協力協定」を市と締結し、大規模災害時におけるボランティアの受け入れ体制の整備とその研究をしてまいりました。

しかし、これからは誰もが経験したことのない世の中の大きな変化による多様な生活課題に対し、住民相互の「新たな支え合い」と「地域力」をさらに高め、社協の基本理念である「みんなで支え合い、ともに生き、ともに暮らせるまちづくり」を皆様方と共に推進してまいりたいと思っております。本年も一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

た」保護者も「畔や畑の土の感触や忘れていた昔のことを子どもから気付かされた」と感想もありました。一同幸福感に包まれました。



子ども達の歓声が響きます

### 経験豊かなシルバーパワー いろいろお手伝い致します

- ☆植木の剪定や除草
- ☆お掃除や襖張り
- ☆親切なパソコン教室
- ☆デジタルカメラ撮影講座
- ☆こどもの一時預かり

お気軽にお問い合わせください



南足柄市シルバー人材センター  
〒250-0113南足柄市岩原1016-1おかもと福祉館内  
TEL.0465-72-0789 FAX.0465-73-4055

### 当事務所の特色 3つの柱

- ◇財産の管理、税金の相談
- ◇「成年後見」等のお手伝い
- ◇円満な相続及び相続対策のお手伝い

### 税理士法人 押田会計事務所

小田原事務所 〒250-0011  
小田原市栄町1-11-16Mビル5F  
TEL.0465-20-1170

横浜事務所 〒220-0005  
横浜市西区南幸2-19-4折目ビル4F  
TEL.045-313-1546

<http://www.oshidakaikai-tms.or.jp>



### 医療法人 おぎの整形外科・歯科

#### 診療時間

整形外科 AM9:00~12:00  
PM3:00~6:00

歯科 AM9:00~12:00  
PM3:00~6:00

土曜日のみ  
PM2:00~5:00

休日 水・日曜・祝日



整形外科 TEL.0465-73-1100  
歯科 TEL.0465-73-2288

〒250-0105神奈川県南足柄市関本750-1  
<http://www.ogino.or.jp>



# 被災地のいま

岩手県陸前高田市

南足柄市社会福祉協議会

常務理事 石綿 斌あきら

東日本大震災からまもなく5年を迎えようとしている中、10月21日に陸前高田市社会福祉協議会と遠野市社会福祉協議会を訪問してまいりました。

南足柄市社会福祉協議会は復興支援のため、陸前高田市社協に寄付する活動を行っております。この支援をする中で、同市社協から被災地の心を和ませる活動の話を聞き、花の交流を提案し、平成25年に矢倉沢地区植田勇次さんのご厚意で「ざる菊の苗木」を寄贈しました。



ざる菊の様子を見学

その後の育成状況と、現地の復興状況などを、植田さんと社協職員とで見えてまいりました。

小友町地区のざる菊は旧小友駅前の一区画と道路沿いにきれいな花を咲かせていました。

また、災害現地は、陸前高田の海岸部に大きなベルトコンベアが設置され、宅地造成工事が発生する土砂を運搬する全長3キロのベルトコンベアは、復興を加速させる「希望のかけ橋」と名付け復興の推進役を担ったと聞きました。訪れた時は、既にその役目を終え解体工事の途中でした。

さて、遠野市と陸前高田市の社協では同じ問題で悩まれています。それは避難者の今後の住居問題をどう取り扱うかでした。遠野市は災害支援の拠点として復興に協力している市であり災害の少ない印象から、遠野市にこのまま住んでほしいという方が多いと聞かされました。住民の方々に「帰ってほしい、このまま残ってほしい」のどちらとも言えない。

被災地の人口減少危機がよく分



復興の今を聞く

かっているからと、両市の苦悩が見えるようでした。また、外に出て両市を見て歩き、報道映像では見られない現実を肌で感じ、復興の道筋がどれほど大変であるのか、果たしてこの場所にいつ住めるのか、高く積み上げられた土砂の山を見ては気がかりになりました。まだまだ、被災された方々のご苦労が続くと思われませんが、本市社協の支援とざる菊が少しでも癒しのお手伝いになればと考えております。

これから引き続き支援活動に取り組み、ざる菊と共に復興を見守って行きたいと思えます。

ぬくもりとやさしさ

届けます



社協ボランティアセンターに登録している「みなみあしがら遊友（会長 岩本暖子氏）」が、11月26日に手編みのくつ下や帽子など100点以上を岩手県陸前高田市社協へ寄贈しました。

贈られた品は、今後重点見守り者のお宅に慰問し、安否確認を行う時やサロン活動で行われるクリスマスプレゼントとして渡されることになっていきます。

東日本大震災から4年という歳月が過ぎたにも関わらず、今もこのまちで被災地を思いボランティア活動を進めている会の皆様に感謝と、これこそがボランティア活動であると誇りに思っています。



くつ下の袋詰めの様子

27年度

# 市社会福祉大会開催



南足柄市社会福祉大会が11月21日(土)午後1時30分から文化会館小ホールで開催されました。会場の入口では東日本大震災の被災地の物産販売、ボランティアアゲループのバザー、社会福祉協議会の事業紹介など楽しい雰囲気がありました。第1部の式典では主催者

挨拶、社会福祉協議会の表彰状並びに感謝状の贈呈、来賓の祝辞などがあり、第2部では講演が行われました。

受賞された方(敬称略)

【表彰】

▼地域の福祉活動にご尽力された方々

遠藤 敏子(荻野)  
小清水 秀子(関本)



社会福祉大会に出席された受賞者のみなさん

玉川 善弘(中沼)  
青野 旨成(向田)  
露木ミサ子(下怒田)  
嶋田 祐三(壺下)  
石井 治躬(和田河原)  
鈴木フサ子(生駒)  
若林 彰(日向)  
西原 英子(いずみ)  
橋本 玲子(岩原)

▼福祉当事者団体の役員で団体の発展に寄与された方

百田 昇(岩原)  
竹久保健次(飯沢)

【感謝】

▼福祉推進団体の委員として長年活躍された方々

細見 福史(飯沢)  
安藤 則夫(沼田)  
鋼持美恵子(塚原)  
須藤 育子(岩原)  
鈴木シズ子(福泉)  
関田 勝利(岩原)  
渡瀬 和美(飯沢)  
櫻井 靖矩(関本)

▼民間の福祉施設で長年にわたり勤務された方々

猪川 尚子(中沼)  
乙部 恵子(小田原市)  
鈴木 増子(小田原市)  
稲元 忠臣(小田原市)  
金井 佳子(生駒)  
奥津 英二(和田河原)  
杉山 友美(大井町)  
山本 卓生(竹松)

▼社会福祉協議会活動の進展に寄与された方々

アサヒビール株式会社  
津田 正子(岩原)  
広岡 薫(塚原)

第2部では「知的障がい児の可能性を信じて」と題して内海邦一氏の講演がありました。内海氏は市内和田河原のご出身。現在藤沢市にお住まいで、NHKの番組「お



かあさんといっしょ」や「クイズタイムショック」、「クイズミリオネア」等の人気番組を制作される放送作家としてご活躍されております。

講演では、まず、会場の皆さんに少しでも障がい者を理解していただくために、息子さんの緊張をほぐす、お笑いを披露してくださいました。息子の隼吾さんが、お題を決めた父からの投げかけで、身振り手振りを交えてダジャレでオチをとる、父と子の見事な二人三脚に、会場は拍手喝采でした。

内海氏は、「わが息子がダウン症という障がい児になって、勉強し理解するようになった。ダウン症と言うと、どうしてもマイナスのイメージを持ってしまいが、障がい者は、出来ない事や苦手な事が多いのだという事をご理解いただきたい。

障がいの子供たちの特徴として例えば、小学校の運動会で一番親しまれているのが徒競走ですが、一般的には1番を取れるよう速く走ろうとします。しかし、障がい者の場合、他の誰かが途中で転んだりすると、その人を起こしに行つて一緒に手をつないでニコニコとゴールをするといった事があります。障がい者、特にダウン症の方

方に見られます」と障がい者の優しさを紹介されました。

あるとき、ホットジェネレーション（障がいを持つ子ども達とプロのミュージカル俳優らが本格ミュージカルに参加した時の事でした。実際にホールを借りてミュージカルを上演し、この中で何人か



講演された内海氏と息子の隼吾さん

の障がい者と共演しました。その時感じた事を内海氏は次のように語っていました。「知的障がい者は集中力が長続きしないという特徴がありますが、何度かやっているとうちに少しずつ出来るようになってきました。出来ないのではなく、遅いだけである事がわかりました。親が諦めたらその子の持っている

可能性は閉ざされてしまいます。親が探してあげる。簡単には見つからないが根気よく探してあげる。障がいを持った子が生きて行く上で自信を持つ何かを見つけてあげる事が大切です」。

今の社会では知的障がい児のための学びの場所があまりにも少ないということから、奥様とカルチャースクール、NPO法人ドリムエナジープロジェクトを今年3月に立ち上げました。

NPO法人としてはまだ日が浅いのですが、数年前からこの活動を実施しており、現在、横浜に会場を借り、歌、ダンス、書道、美術、英会話、写真、コミュニケーション、手品等12講座を開設して27家族が参加しています。その運営には会員、賛助会員として30名程の方の協力が得られています。充分な活動を進めて行くには旗振りの方や御指導下さる方など、もっともっと人手が必要だと訴えています。

最後に隼吾さんの歌をピアノの伴奏で披露されました。「翼をください」と「千の風になって」を熱唱、まさに若きエンターテイメントそのもので、アンコールが起こり「翼をください」を会場の皆さんと合唱して幕を閉じました。

## 全国社会福祉 大会で受賞

全国社会福祉大会が11月20日に東京都の日比谷公会堂で開催され、本市社協の水林節子事務局次長が全社協会長より功労表彰として表彰状を授与されました。

## 県社会福祉 大会で受賞

第64回県社会福祉大会が10月15日に横浜市の紅葉ヶ丘にある県立音楽堂で開催されました。

第1部はタレントのダニエル・カール氏による「ふるさとの絆」私の大好きな日本」と題する講演がありました。第2部は、長年にわたり地域福祉活動に尽力された方や共同募金に協力された方たちに表彰状や感謝状が県知事や県社協会長、県共同募金会会長からそれぞれ贈呈されました。

### ▼県社協会長表彰（敬称略）

安藤 則夫（民生委員）  
細見 福史（民生委員）  
廣川 啓子（社協）

### ▼県共同募金会会長感謝（敬称略）

磯崎 巖（飯沢）  
佐藤 廣理（地藏堂）



# 地域福祉会連絡会事例発表

11月11日（水）今年度の研修会が多くの地域福祉会役員と会員の参加により開催されました。

「会員相互の親睦と地域にふれあいの輪を広げていくために」

## 下怒田ふれあいの会

会長 山内宗房むねむら

下怒田ふれあいの会は、そこに集う人たちが楽しみながら親睦を深めることを大切に活動しています。現在、会ではふれあい会というサロン活動を行っています。この会は、平成18年度から子育て支援として取り組んだ子育てサロンを前身としています。

その後、平成25年に開設された市営怒田住宅が高齢者専用住宅で、地域外からの入居者も数多くいることを聞き、そちらの高齢者の方々も参加してもらえよう活動ができなかと検討を重ねた結果、平成26年にふれあい会をスタート。子育て支援と高齢者の憩いの場として、子供から高齢者までがふれあえる世代間交流のサロンとして楽しく開催しています。その一つの活動として8月には流しそうめん



公民館で流しそうめん

んを公民館で行っています。これからもふれあいを大切にゆるやかに楽しみながら活動していきます。

「人と人が気持ちよくふれあう一歩を」

## 雨坪福祉会

会長 湯川美美子

雨坪福祉会は、会の先輩方から引き継いできた、ふれあい出前講座や花壇作り、芋煮会、高齢者の励まし活動等を活かしながら、今年度は新たな活動にチャレンジしています。特に力を入れているのは、他団体とのコラボレーション



地域の歴史散策

（以下コラボ）活動です。そのうち「ほのぼのサロン」は、老人会に協賛し、月に1回、午前の2時間、公民館で開催しているサロン活動です。毎回楽しいお茶飲みやおしゃべりと、健康づくりや地域の歴史散策など、住民のふれあいの場として開催しています。もう一つは、老人会、自治会とコラボしている月2回のラジオ体操です。どちらの活動もスタートしたばかりですが、コラボすることによって人のふれあいができ、つながりができていくことを実感しています。これからも地域の皆さんがふれあえるイキイキとした活動を会員と共に進めていきたいと思えます。

「神秘的な自然と歴史に囲まれたこの地域でのこれからの福祉活動」

## 矢佐芝地域福祉会

会長 樋宮 嶺ひのみや たかね

矢佐芝は、世帯数が20と大変小規模な地域ではありますが、地域の絆の強さ、おいしい水と空気、豊かな緑にあふれる大自然が色濃く残っている、素晴らしい里山です。

会の活動は自治会活動と一体と





準備中の“芝楽広場”

なっており、福祉活動そのものが生活の一部となっています。年間を通じて、環境美化活動、天王山祭り、9月には念願だった活動の場所として公民館の改築が完了しました。10月には恒例となった金次郎柴刈りウォークなどを地域総出で行い、地域の絆を深めています。また、現在、岡本地区のふれあいの場になればと“芝楽広場”の開設を進めています。実は矢佐芝はウォーキングやハイキングに訪れる方が多い隠れた人気スポットです。自然にふれながら、人間が本来持っている生体リズムを取り戻して欲しい。ぜひ一度矢佐芝までお越しください。

身体障害者福祉協会会員5名を講師に6組13人の親子が参加した親子お菓子福祉教室が、県社協ネットワーク推進事業助成を受け、10月24日に女性センターで行われました。この教室はリピーターも多く、今年こそはと開催を心待ちにしていた児童もいます。バスターたつぷりのクッキーは協会副会長加藤弘美さんのオリジナルレシピ。大胆に手で混ぜる作業に子ども達は大喜び、ここぞという時は講師のアドバイス、お父さ



### 親子 お菓子福祉教室に参加して

かりでした。生きていることへの意欲を失いかけていた時、娘から『生きていてくれる、それだけで良い』この言葉を聞いて、自分でも出来ることを探してゆつくり生きていこうと思った」とのお話がありました。発病当時の辛い思い、そして現在の前向きな気持ちには子ども達にもしっかりと伝わったようです。最後に講師へお礼を言い、笑顔で手を振る姿に、温かさや頼もしさを感じた一日でした。

んお母さんの技が光ります。そんなお父さんお母さんの為に今回も武井亮子さんの辛口カレーが子どもも用甘口カレーと共に昼食に用意され、それぞれお好みのカレーに舌鼓をうちました。焼き立てクッキーの甘いかおりに包まれて、午後のティータイムです。ここで協会会員の加藤房子さんは「いざ、自分が片麻痺の障害を負った時『どうして自分が？』と悔しさばかりでした。生きていくことへの意欲を失いかけていた時、娘から『生きていてくれる、それだけで良い』この言葉を聞いて、自分でも出来ることを探してゆつくり生きていこうと思った」とのお話がありました。発病当時の辛い思い、そして現在の前向きな気持ちには子ども達にもしっかりと伝わったようです。最後に講師へお礼を言い、笑顔で手を振る姿に、温かさや頼もしさを感じた一日でした。

あなたの原稿を形にします

出版 印刷 製本

有限会社教文社

南足柄市広町935  
TEL.0465-74-1404  
FAX.0465-72-1040

福祉用具・販売・レンタル・住宅改修

メディカルサービス

おかもと

南足柄市福泉24-9  
TEL 73-3995

営業日 月～土曜日  
営業時間 午前9時～午後6時(月～金曜日)  
午前9時～午後5時(土曜日)  
休業日 日曜・祝祭日

家中がスッキリ

不用品の整理処分

浄化槽から下水道への切替工事

蜂の巣・害虫駆除

困ったら何でもご相談ください!!  
(引き取り費用がかかります)

私達は豊かなあしがら地域の自然と環境を守ります。

あしがら環境保全(株)

本社営業所：南足柄市狩野4 8 6  
☎74-0056(代)

営業時間 8:10～17:00(土曜午後・日曜・祝日は休み)

# おやじの料理教室



料理が未知の世界の人にもやさしい料理教室です。料理を通じて同世代の人と交流を深め、新たな一歩を踏み出してみませんか。

**と き** 平成28年2月26日(金)  
9時30分～14時30分まで  
**ところ** 女性センター生活体験室  
**対象** 関心のある男性先着30人  
**参加費** 600円(材料代など)  
**申込等** 1月19日(火)から、費用を添えて直接  
**申込先** ボランティアセンター ☎72-2299  
**メニュー** ちらし寿司・から揚げ等

## こわからの 事業案内

## 障害児一時預かり事業

# 春休みしゃぼんだまの会



**と き** 平成28年3月29日(火) 10時～15時まで  
**ところ** りんどう会館 ほか  
**対象** 南足柄市に居住する知的障害・身体障害児で、療育手帳及び県の判定で中度以上の障害があると認められた児童及び本事業の参加を必要とする児童、概ね15名(小学生～中学生) ※なお、医療行為を要する児童については、ご相談下さい。  
**参加費** 保険料・材料・おやつ代として1回600円  
**申込等** 2月22日(月)から、直接事務局へ  
**申込先** ボランティアセンター ☎72-2299

## まごころ ありがとう

## 寄付の窓口

27.10.1～27.11.30

### 【寄付金】(敬称略)

- 台河原自治会 .....7,650円
- 飯沢自治会 秋まつりふれあい募金 .....13,723円
- 壺下福祉会 .....5,675円
- 竹松福祉会.....10,000円
- マーガレット(代表 込山敏子)・
- デコパージュ檜の会(代表 山崎笑子) .....2,000円
- 悠々会(チャリティパークゴルフ大会) .....2,200円
- 南足柄市社交ダンス連合会 .....9,865円
- カラオケ 木曜会 .....1,023円

### 【寄付品】(敬称略)

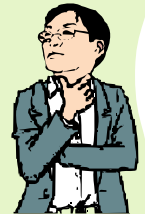
- 第4回神奈川プロアマチャリティーボウリング
- トーナメント神奈川オープン実行委員会.....車いす3台
- マックスバリュ 開成駅前店.....車いす1台

## 知って安心!

## 南足柄あんしんセンター講演会

# 「マイナンバーってなんだろう」

**と き** 平成28年1月23日(土)  
13時30分～15時30分  
**ところ** りんどう会館大会議室  
**講師** 内嶋 順一弁護士  
**申込等** 電話またはFAXにて



※お名前とご連絡先をお知らせください。

いよいよ始まる「マイナンバー制度」について、社協職員による寸劇と、弁舌さわやかな内嶋先生のトークで楽しく学びます。

申込先 あんしんセンター ☎72-2109 FAX73-1211

## 社協賛助会員 事業所紹介

10月1日から11月30日まで  
石川和俊税理士事務所 様

本人にはそれが動いている小動物に見えていたのです。  
2年余り入所していた介護施設で発症し、進行しました。ところが、その人が自宅に戻り、「住み慣れた故郷の家」という、医者には処方できない薬を得ることで、徐々に改善して行きました。  
ひとつの例に過ぎませんが、あらためて人間の脳や心の不思議さに驚かされました。

編集委員 岩本和夫

## 編集後記

その人は「レビー小体型認知症」と診断されています。アルツハイマー型の次に多い認知症です。主な症状は幻視・幻聴です。他の人には見えないものが見えてしまう。小動物から人間まで(時には自分に対し悪意を持った人間も)部屋の中、いたる所に出現するそうです。不安、怒り、恐怖に襲われます。身の回りの、別の何かを見間違えることが多いのですが、厄介なことにそれが動いて見えるらしいのです。  
ある日、まさにそれが出現している場面に居合わせました。その人の指さす物を手に取り、段々と近づけていくと、ある距離に近づいた瞬間、それが自分の毛糸の帽子だということに気付きました。  
本人にはそれが動いている小動物に見えていたのです。